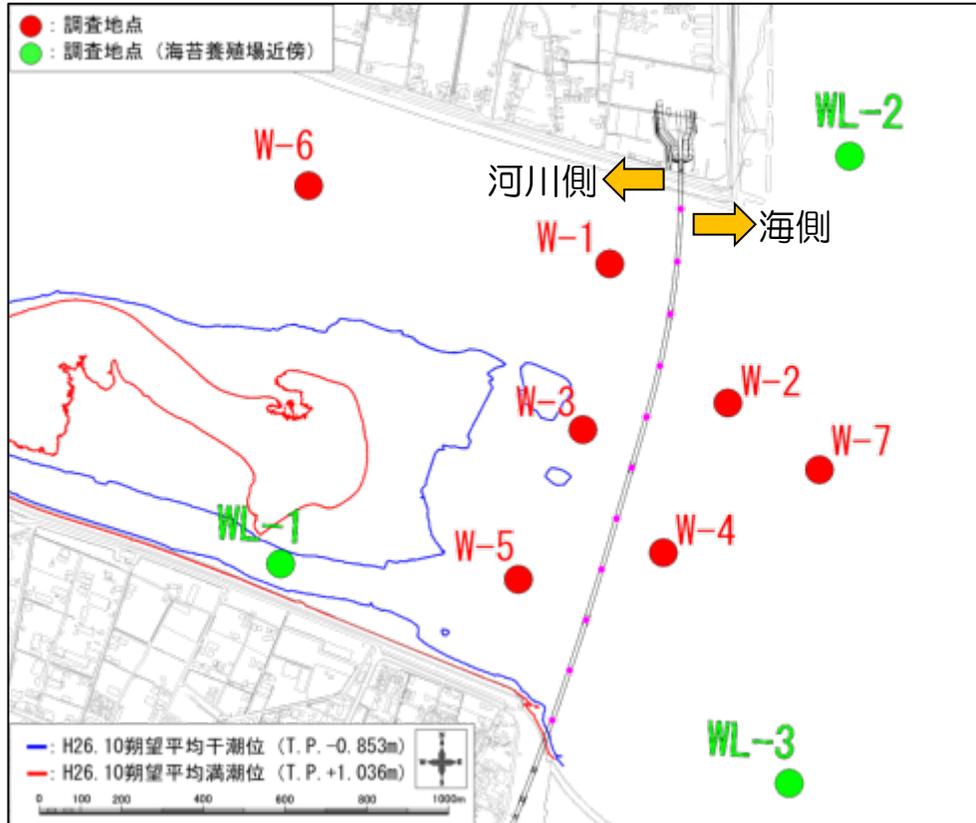


②水質調査（速報）

■調査地点



■調査実施日

- 平成26年9月26日
- 平成26年12月18日
- 平成27年3月20日
- 平成27年6月4日

■第5回環境部会(H27.2.24)で報告した内容

- 水質は、河川側、海側に関わらずほぼ同様。
- 海域の有機物・栄養塩類の指標（COD、全窒素、全リン）は、基準値から見て比較的高い傾向にある。
- 吉野川河口域は、河川水が海域に流れ込むことで、有機物や栄養塩類が豊富な水域（河川と海の両方の特徴）となっていると考えられる。

■水質調査の結果(速報) ～調査結果～

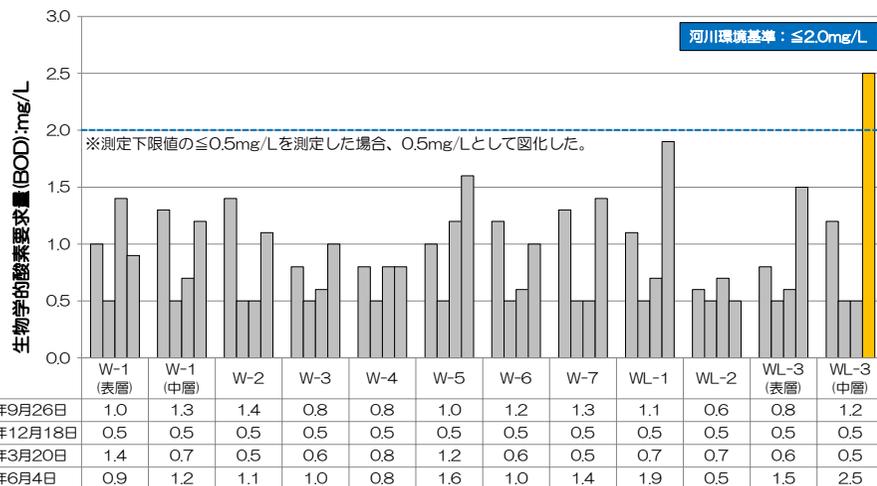


水質調査の結果を以下に示す。今回、12の調査項目のうち、基準値を満たさない結果となった**6項目**について報告する。

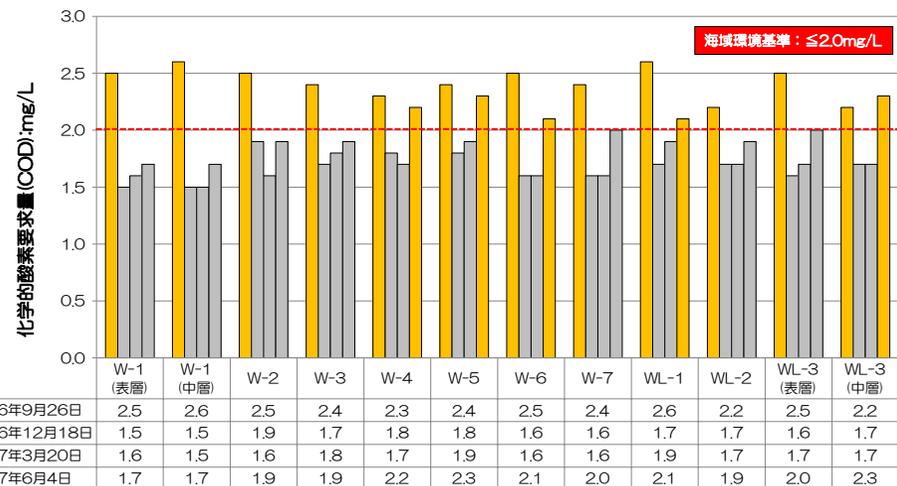
- ①BODは、H27.6月にWL-3(中層)で基準を超過したが、それ以外は満たしていた。
- ②CODは、H26.9月で全地点が基準を超過し、以降12月、H27.3月と満足し、6月に再び超過する地点が見られた。

■BOD：生物学的酸素要求量

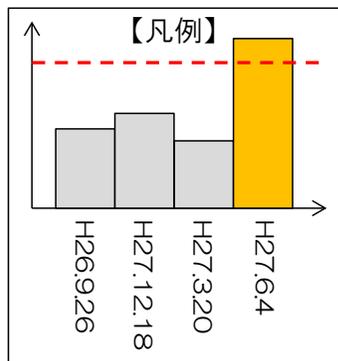
■COD：化学的酸素要求量



注意：各地点の棒グラフは、左から古い日付順に並んでいる。



注意：各地点の棒グラフは、左から古い日付順に並んでいる。



※基準値を満たさなければ橙色に着色

BODとCODは、6月と9月に上昇する傾向が確認された。

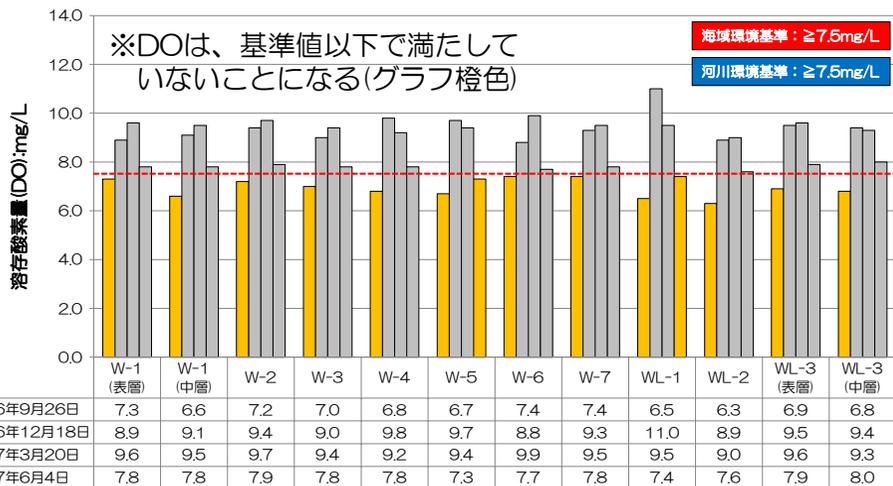


■水質調査の結果(速報) ～調査結果～



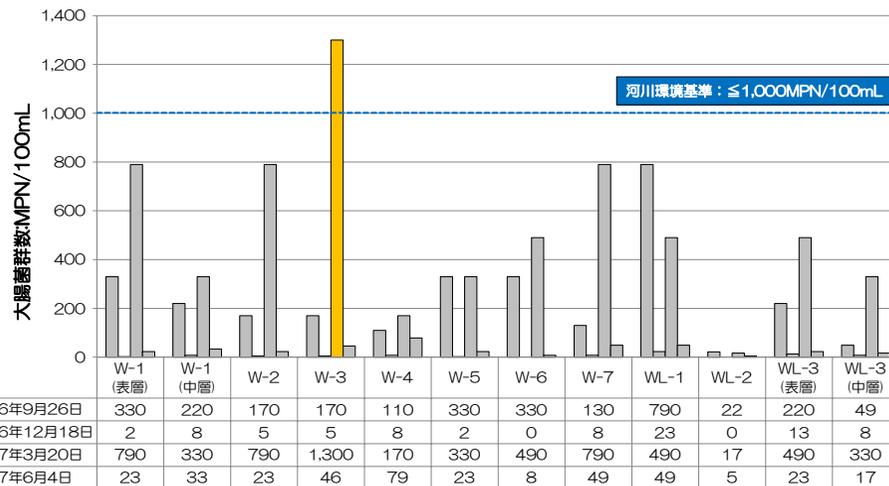
- ③DOは、H26.9月で全地点が基準を満たしていないが、以降は基準を満たし続けた。
- ④大腸菌群数は、H27.3月にW-3で基準を超過したが、それ以外は満たしていた。

■DO：溶存酸素量

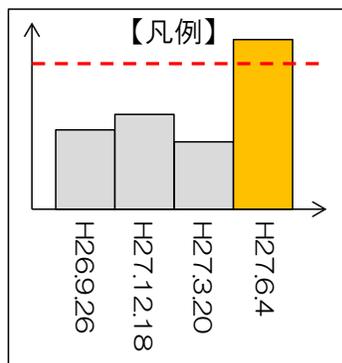


注意：各地点の棒グラフは、左から古い日付順に並んでいる。

■大腸菌群数



注意：各地点の棒グラフは、左から古い日付順に並んでいる。



※基準値を満たさなければ橙色に着色

DOは、12月と3月が高く、6月と9月が下降する傾向が確認された。

大腸菌群数は、ほとんど基準を満たしていた。

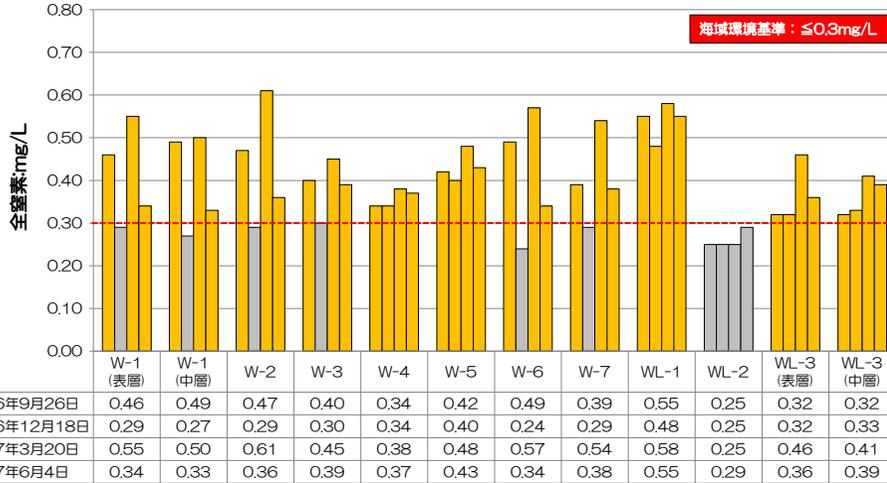


■水質調査の結果(速報) ～調査結果～



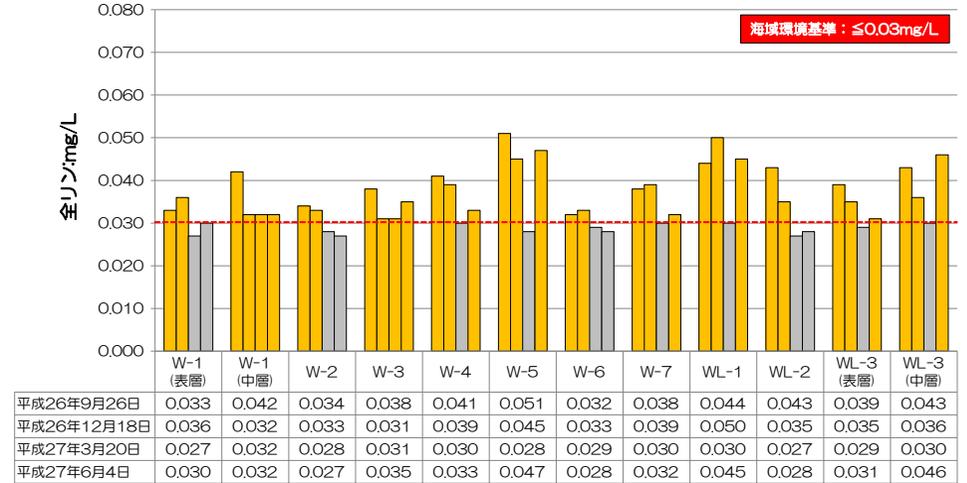
- ⑤全窒素は、WL-2を除き、基準値を超過していることが多い結果となった。
- ⑥全リンは、基準値を超過していることが多い結果となった。

■全窒素

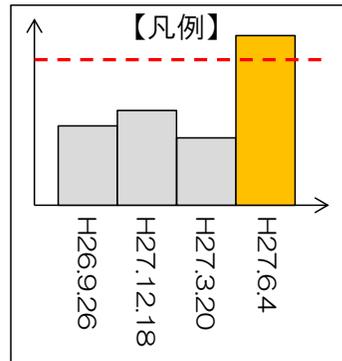


注意：各地点の棒グラフは、左から古い日付順に並んでいる。

■全リン



注意：各地点の棒グラフは、左から古い日付順に並んでいる。



※基準値を満たさなければ橙色に着色

水質調査の結果、吉野川渡河部周辺の水質は、河川側、海側に関わらずほぼ同様であることが確認された。

吉野川河口域は、河川水が海域に流れ込むことで、有機物や栄養塩類が豊富な水域(河川と海の両方の特徴)となっていると考えられる。

※第5回環境部会報告と同様

